

（１）学部、学科、研究科、専攻ごとの名称及び教育研究上の目的 及び学校教育法施行規則第百六十五条の二 第一項の規定に より定める方針

学部、学科、研究科、専攻ごとの名称（令和 7 年 5 月 1 日現在）

学部／研究科	学科／専攻	専攻	コース
人間教育学部	教育・心理学科	初等・中等（英語）教育専攻	児童生徒教育コース
		心理・文化専攻	こども発達コース
看護栄養学部	看護学科		
	健康栄養学科		
人間科学研究科	心理臨床学専攻		

学部、学科、研究科、専攻ごとの教育研究上の目的（令和 7 年 5 月 1 日現在）

本学は、カトリック精神に基づく人格教育を行い、学問研究及び教育の機関として、広い知識と深い専門の学芸とを教授し、知的・道徳的及び応用的能力をもつ人間形成につとめ、真理と平和を愛し、文化の発展と人類の福祉に寄与する人物を育成することを使命とする。

人間教育学部は、カトリック精神に基づき、広い視野と豊かな人間性を育み、「チーム学校」の理念のもと、教員、保育士、公認心理師等の養成を通して幅広い人間教育を行い、広く社会の教育・対人援助の分野で貢献できる高度な専門的知識と実践的な指導力を備えた人材の養成を目的とする。

教育・心理学科においては、多種多様な専門職・機関及び地域との連携・協働に優れたリーダーシップを発揮し、学校教育を内外から支える力を身につけた人材を養成する。初等・中等（英語）教育専攻は、教員養成を主たる目的とする専攻であり、「チーム学校」の理念のもと、学校教育において要求される高度な専門性を持った教員の養成を行う。心理・文化専攻は、「チームとしての学校づくり」の中核をなす高い専門的知見を備えた心理専門職の育成を行う。

看護栄養学部は、カトリック精神に基づく人間観を基盤とし感性豊かな人間性を養い、いのちに対するやさしさを具現化する看護職者と高度な栄養指導を行う管理栄養士の養成を通して、保健・医療・福祉活動に貢献できる幅広い知識・技術・判断力を身に付け、現代社会のニーズに的確に対応できる人材を育てることを目的とする。

看護学科においては、人間愛を基盤とし、人間関係が調整できる資質を備え、看護に携わる専門職者として必要な基礎知識・技術および態度を修得し、社会に貢献しうる人材を育成する。

健康栄養学科においては、高度な専門的知識・技術を併せ持ち、社会のニーズや変化に対応し、国民の健康長寿の要として、一人ひとりにきめ細かい栄養指導のできる人材を育成する。

本学大学院は、カトリック精神に基づき、広い視野に立って、精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又は高度の専門性を要する職業等に必要能力を養い、地域と世界に貢献しうる有能な人物を育成するとともに人類の平和及び文化と福祉の発展に寄与することを目的とする。

人間科学研究科心理臨床学専攻では、より高度な専門的知識を身につけた心理臨床の専門職業人を育成し、多様な分野での課題解決に必要とされている臨床心理士等の人材を育成することを目的としている。

学校教育法施行規則第百六十五条の二 第一項の規定により定める方針（令和 7 年 5 月 1 日現在）

■ 鹿児島純心大学について

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

鹿児島純心大学は、「カトリック精神に基づく人格教育を行い、有為な人を育成する」という理念のもと、その教育の実現を目指し、以下に掲げる資質・能力を備え、卒業要件を満たす学生に学士の学位を授与します。

1. 相手の気持ちを思いやり、人との違いや異なる価値観を受容できる豊かな人間性と教養を備えている。
2. 専門分野の知識と技能を磨き、地球市民として社会に貢献する高い意識と広い視野を持っている。
3. 多様性社会の中で自他ともに尊重し、命の尊さを認識し行動できる。
4. 主体的に考え、社会において責任ある行動のできる自律力を備えている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

鹿児島純心大学では、教育の理念の具現化を目指して、「基礎教育科目」と「専門教育科目」を柱としています。各学部、学科において必要な科目を配置し、講義、演習、実習等を組み合わせ体系的な学びに配慮したカリキュラム編成をしています。また、この教育課程の履修を通じて、ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に掲げる能力を身につけた人を育成します。

1. 基礎教育科目を強化し、豊かな人間性との確かな判断力を持つ人を育成
「基礎教育科目」は全学部生の共通科目群であり、人間的成長を促す領域と情報を活用し表現力を高める領域の 2 領域で構成しています。豊かな人間性を培い、社会の具体的な課題把握の解決のために主体的に学ば力を修得できるよう編成しています。
2. 多様な職業に対応できる高度な専門性を身につけた人を育成
「専門教育科目」は広く社会に貢献するために必要となる専門の教育科目で編成し、学科ごとに専門教育分野の体系と最新の知見を踏まえた適切な内容を組み込んでいます。各学科ともに質の高い実践力を 1 年次から段階的に習得できるよう編成するとともに、より効果的な授業形態・教授方法を用いた教育を展開し学修の支援をします。
3. 地域貢献を視野に入れ、「基礎教育科目」「専門教育科目」を通してコミュニケーション能力に優れた人を育成
各学科の授業科目においては主体的・能動的な学びや協調性を養うことができるようアクティブラーニング等を取り入れた学習の機会を提供します。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

鹿児島純心大学は、カトリック大学ならではの人間教育を目標としており、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに掲げた能力を身につけたいと望む学生を受け入れるとともに、以下のような人の入学を期待します。

1. カトリック精神に基づく教育に理解をもち、豊かな心と優しさを持つ人
2. これまで修得したあらゆる科目と課外活動を土台として、幅広い教養と高い専門性を身につける意欲を持つ人
3. 柔軟な思考力との確かな判断力を身につけようと希望し、好奇心をもって主体的に何事にも一生懸命に取り組む人
4. 地域社会や人々に関心をもち、多様な価値観を受け入れ、対話や協働を大切にできる人

■ 人間教育学部 教育・心理学科について

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 態度・志向性
高い倫理観のもと、人に誠実に接することができ、他者と協働しながらチームとして問題を解決することができる。
2. 知識・理解
教育学、保育学、心理学、言語・文化等に関する専門的知識及び技能を身につけ、学校教育を内外から支える力を有する。
3. 汎用的技能
高度なコミュニケーション力や多角的視野からの分析力・判断力を有し、多様性を受容する姿勢のもと、円滑な人間関係を形成し発展させることができる。
4. 総合的な学習経験と創造的思考力
実習や地域と連携した活動を通して磨かれた実践力を、教育の場や社会の場で活かし、柔軟な姿勢で課題に対応することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

教育・心理学科は、学科共通の「基礎教育科目」と「専門教育科目」をカリキュラムの大きな柱としている。「専門教育科目」は、「学科共通専門教育科目」および専攻・コースごとに定められた「専門教育科目」に分けられ、専攻やコースにより異なる編成でそれぞれの専門性を高め、また同時に「チーム学校」という学科コンセプトの下、教育と心理の領域を有機的に連携させ、学校教育を内外から支える人材の育成を目指した教育課程を編成する。

- 1) 基礎教育では、初年次教育として大学における学びの姿勢や方法を身につけるとともに、豊かな人間性と幅広い教養を涵養し、よりよく生きるための力の基盤をつくる教育課程編成とする。
- 2) 1年次から4年次まで少人数教育を基本に、学年を追うごとに基礎的内容から発展的内容へと学びを深めていけるように、段階的かつ体系的に教育課程を編成する。
- 3) 専門教育の基盤をつくるとともに、幅広い領域の科目履修を通して多角的視野や統合的判断力を培うことを目的として、専門教育に「学科共通専門教育科目」を設ける。
- 4) 専門教育では、それぞれの専門に応じて教育、保育、心理、言語・文化科目をバランス良く配置し、学修することで、専門的知識と高度な技能を身につけることができるようにする。
- 5) 各専攻及びコースの専門性を充実させる一方で、教育と心理の領域を有機的に連携させ、学校教育を内外から支える知識・技術の修得ができる教育課程編成を行う。
- 6) 授業内外で領域と連携した体験型学習を積極的に取り入れ、知識・技能の向上はもとより、コミュニケーション能力、柔軟性、社会性、問題解決力等の向上・育成を図る。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 人間と教育に興味・関心を持ち、学ぶ意欲のある人
2. 多角的な視点から物事を考え、その考えを表現する力や相手を理解しようとする姿勢をもっている人
3. 向上心や探求心を持ち、主体的に他者と協調して様々な活動を行う意欲のある人
4. 地域・社会活動に興味があり、積極的に取り組む意欲のある人

■ 看護栄養学部について

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

看護栄養学部は、豊かな人間性と実践力を備えた専門性の高い看護職者と管理栄養士の育成を目的としている。そのため次の学士力を身につけた者に卒業を認定し、学位を授与する。

1. 課題解決に応用できる基礎的知識と技術を修得し、技能として実践できる。
2. 他職種との協働を調整できるコミュニケーション・スキルを修得している。
3. 他者への深い理解と倫理観をもって行動できる。
4. 社会的貢献と専門性の発展に関心を持ち続け、積極的に行動できる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

豊かな人間性を培うための科目と国家試験受験資格取得に必要な科目で構成されている。

1. 人への深い理解を基盤に高い専門性を学ぶことができる。
2. 演習や実習などの豊富な実践型学習を通してコミュニケーション・スキルや協調性などを学ぶことができる。
3. 社会性を育てるための地域との様々な交流が設けられている。
4. 異文化理解と国際的視野を拡げるための海外研修の機会が設けられている。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 自ら学ぶ意欲があり、努力を続ける人
2. 人との関わりに積極的になれる人
3. 人の気持ちに寄り添える人
4. 地域との交流や社会の動向に関心がある人

■ 看護学科について

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

本学科では学則で定める卒業に必要な単位数を取得することが学士号授与の要件となる。
また、卒業までに次の４つの力を有することを重視する。

1. 知識・理解
 - ・対象を全人的にとらえる基本的能力
 - ：人間を様々な側面を持つ存在として健康の視点から包括的にとらえるための基本となる能力
2. 汎用的技能
 - ・看護者としての実践力
 - ：人々の健康課題に対応でき、科学的根拠に基づいた看護を実践しうる能力
3. 態度・志向性
 - ・豊かな人間力
 - ：人間の尊厳や倫理の意味を理解した上で、あらゆる対象者を理解し援助関係を形成する能力
 - ・多職種と連携する力
 - ：保健・医療・福祉・教育の領域において多職種と連携、協働しながら看護を発展、充実させる能力
4. 総合的な学習経験と創造的思考力
 - ・専門性を発展させる力
 - ：自己啓発能力と研究的態度を身につけ、社会の動向に関心をもち、看護の専門性を発展させる能力

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. ディプロマ・ポリシーの達成のために、基礎教育科目、専門教育科目の２つの系列からカリキュラムを構成する。
2. 基礎教育科目では、個人としての成長や生涯学習の基礎づくりとなることを目指すと共に、カトリックの人間観に基づいて看護学を学ぶ基礎づくり、情報を活用しながら表現力を高めるための基礎的力を養う。
3. 専門教育科目は、「看護の基盤となる領域」「看護の軸となる領域」「実践力を発揮する領域」「看護の発展となる領域」から成り、領域間の関連性や順序性を考慮して構成している。
 - ①「看護の基盤となる領域」で看護学の基礎となる考え方や態度を育成し、「看護の軸となる領域」において「看護の基盤となる領域」での学びも生かしながら看護の軸を形成していく。
 - ②「実践力を発揮する領域」では、「看護の基盤となる領域」及び「看護の軸となる領域」での学びを統合し、看護実践力を高めるための素地を養う。
 - ③「看護の発展となる領域」では、看護学の基礎を踏まえた上で、看護師、保健師、助産師、養護教諭として、より発展的な学びができるよう科目を配置している。
4. 看護の実践力を養うため、講義、演習、実習等を適切に組み合わせ、主体的・能動的な学びや協調性を養うことができるよう小グループでの演習などを取り入れた学習の機会を提供する。
5. 各科目では、科目の目標に応じて設定された評価方法を事前に提示した上で、その評価方法に基づき、知識・態度・技術等を総合的に評価する。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学科では次のような人を求める。

1. 自ら学ぶ意欲のある人
2. 看護学を学ぶのに必要な基礎学力を有する人
3. 人に対する関心があり、人と人とのかかわりを大切にできる人
4. 人間の尊厳を考えることができる人
5. 社会の出来事に対し関心を寄せ、自分の考えが持てる人

■ 健康栄養学科について

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

1. 知識・理解
 - 1) 健康の保持・増進、疾病の予防・治療に必要な栄養に関する基礎的な知識を修得している
 - 2) 人々を取り巻く環境に関心を持ち、社会の中における自らの専門分野の意義と位置づけを理解している
2. 汎用的技能
 - 1) 専門的な知識を活かし、食と健康に関する課題を科学的・論理的に把握・分析し、人々を健康に導く方向性を示すことができる
 - 2) コミュニケーションスキルを身につけ、他職種と協調性を持って課題の解決に向けた連携を図ることができる
3. 態度・志向性
 - 1) 豊かな人間性と倫理観を身につけ、積極的に物事に取り組む姿勢がある
 - 2) 食と健康の専門家として、自らの果たす役割を自覚し、人々の QOL 向上に貢献する意欲がある
4. 総合的な学習経験と創造的思考力
 - 1) 地域社会において、これまでに獲得した知識・技能・態度を総合的に活用し、個人や集団の課題に柔軟性を持って対応できる
 - 2) 常に新しい知識・技術を学ぶ意志を持ち、専門家として主体的に考え、自らの行動に責任をもって社会のために貢献できる

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 初年次教育として、本学科に必要な基礎化学、生命科学、生物有機化学の科目を配置している。
2. 専門教育は、基礎科目から専門科目へ学年を追って体系的に配置されている。専門教育科目は、講義を先に、実験・実習をその後に配置して、理論を基にして実践力を養成する。
3. 栄養教諭、家庭科教諭の受験資格およびフードサイエンティストの資格取得に必要な科目は、学科の学びの中で修得できる。
4. 教養科目に関しては、4年間をとおして教養科目を選択必修として卒業までの間に修得できるように配置している。
5. 学外実習として、臨地実習やインターンシップおよび海外研修をとおして、管理栄養士業務の実際を学び、実践力やコミュニケーション力を養う。
6. 基礎教育科目として、「純心講座」「キリスト教概論」および「人間の探求」を必須科目としてカトリック精神を伝え、豊かな人間性を育むための教育の一環としている。

入学者受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

1. 知的好奇心に満ち溢れ、常に向上心をもって、食と健康に関する知識に興味・関心がある人
2. 栄養・医療・福祉に関する事柄を科学的・論理的に学ぶための基礎学力を備えた人
3. 多様な人々と協働できる基本的なコミュニケーション力のある人
4. 学んだ知識や技能をもとに、地域社会に貢献する意欲のある人

■ 人間科学研究科 心理臨床学専攻について

修了認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

- 1) 研究遂行に至る読解力、資料収集、分析能力を持ち、内外へ発信する能力を培っている。
- 2) 研究倫理を遵守した上で、研究目的やその意義を正確に論述する能力を有している。
- 3) 論理的思考、創造的思考を身につけ、臨床的場面での問題点を見つけることができる。
- 4) 社会に貢献できる有為な心理臨床家としての素養を身につけている。
- 5) 心理臨床学を基盤に、幅広く深化した高度な理論的・実践的能力を身につけ、独創的視点で修士論文をまとめる統合力、総合力を獲得している。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

研究力、臨床力、社会的責任・倫理観の絶妙なバランス感覚をもった、社会に求められる心理臨床家を養成するために、以下のようなカリキュラムを提供する。

- 1) 社会的責任・倫理観：
一人の人間としてのアイデンティティを確立し、研究倫理に加え、社会に貢献できる資質を涵養できるよう研究指導、臨床指導を行う。
- 2) 研究力：
心理臨床学をベースに、学際的に学ぶ態度（リベラルアーツ）を培えるような「専門領域」科目を開講する。また、修士論文作成を通し、創造的に研究する力を養い、自らの心理臨床的関心を深めるようにする。少人数制により、独創的で社会に貢献しうる研究力を涵養し、その成果を修士論文としてまとめられるよう「特別研究」の科目を開講する。
- 3) 臨床力：
地域貢献を踏まえた臨床心理実習を充実させた「課題研究」科目を提供する。心理専門職としての基本姿勢や倫理観、社会人としてのマナー、コミュニケーション力を育む「臨床心理基礎実習」を基礎とする。1・2年次の「心理実践実習Ⅰ」「臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習Ⅱ）」により、学内実習及び、医療施設・福祉施設等での臨床実習を提供する。また、2年次の「臨床心理実習Ⅱ」では、学内実習の事例検討を実施し、事例研究論文としてまとめていく力を養う。これらの臨床実習を通して、他者の苦悩を想像する力、アセスメントする能力、創造的な支援（臨床心理面接）のありようを感得できるよう、スーパーヴィジョン・ケースカンファレンスを重視する。

入学受け入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- 1) 心理臨床学のみならず、幅広い知識と教養（社会的常識）をもつ人。
- 2) 他者の気持ちを想像し、場の雰囲気や状況をよみ、自らの意志や感情を表現し、相互に伝えあい、理解しあえる素養をもつ人。
- 3) 心理臨床家として有為な存在となるべく、主体的で謙虚さをもった人。